

# 成 分

一	源 泉 名	宮古島温泉
二	源 泉 所 在 地	沖縄県宮古島市平良字東仲宗根添1898番地19
三	仕 様 設 備 名 及 び 所 在 地	宮古島温泉(その他の公衆浴場)
四	泉 質	ナトリウム - 塩化物強塩温泉(高張性 弱アルカリ性 高温泉)
五	泉 温	源泉 49.7 (気温 21.3 ) 使用位置 42.6 (気温 20.0 )
六	試 験 成 績	
	1 性 状	ゆう出地 弱黄色微濁 塩味・収れん味 無臭 試験室 弱黄色微濁 塩味・収れん味 無臭
	2 素 イ オ ン 濃 度 (pH)	ゆう出地 7.5 試験室 7.66
	3 ラ ド ン 含 有 量	1.2 (百億分の一キュリー単位)
	4 比 重	1.1023 (20 における)
	5 蒸 発 残 留 物	20.05g/kg (180 )
	6 温 泉 の 成 分	(本水1キログラム中に含有する分量)

含有成分		ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	ミリモル	
陽イオン	Na+	ナトリウムイオン	7004.00	304.70	90.30	
	K+	カリウムイオン	36.50	0.93	0.28	
	NH4+	アンモニウムイオン	11.50	0.64	0.19	
	Mg2+	マグネシウムイオン	119.50	9.83	2.91	
	Ca2+	カルシウムイオン	413.90	20.65	6.12	
	Sr2+	ストロンチウムイオン	26.30	0.60	0.18	
	Ba2+	バリウムイオン	3.60	0.05	0.01	
	Mn2+	マンガンイオン	0.40	0.01	0.00	
	Fe2+	第一鉄イオン	1.00	0.04	0.01	
		計				
陰イオン	C1-	塩化物イオン	7617.00	337.50	100.00	
	Br-	臭化物イオン	11850.00	334.40	98.56	
	I-	ヨウ化物イオン	22.40	0.28	0.08	
	HCO3-	炭酸水素イオン	19.90	0.16	0.05	
	CO3 2-	炭酸イオン	269.70	4.42	1.30	
			0.70	0.02	0.01	
		計	12160	339.3	100.00	
メタケイ酸(H2SiO3)		32.6			0.42	
メタホウ酸(HBO2)		28.0			0.64	
ガス成分を除く溶存物質総量		19840				
遊離二酸化炭素(CO2)		21.7			0.49	
成分総計		19860				

## その他の微量成分

総ヒ素	0.005	mg/kg未満
銅イオン	0.01	mg/kg未満
鉛イオン	0.01	mg/kg未満
総水銀	0.5	μg/kg未満
カドミウム	0.005	mg/kg未満

温泉の成分分析日  
分 析 者

平成19年2月2日  
財団法人鹿児島県環境技術協会  
理 事 長 内 山 裕

## 禁忌症及び適応症

### 一 禁忌症

#### 1 入浴禁止

- ( 1 ) 急性疾患 (特に熱のある場合) ( 2 ) 活動性の結核 ( 3 ) 悪性腫瘍  
( 4 ) 重い心臓病 ( 5 ) 呼吸不全 ( 6 ) 腎不全  
( 7 ) 出血性疾患 ( 8 ) 高度の貧血  
( 9 ) その他一般に病勢進行中の疾患 ( 10 ) 妊娠中(特に初期と末期)  
( 11 ) 次の疾患については原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。  
ア 高度の動脈硬化症 イ 高血圧症 ウ 心臓病

### 二 適応病

#### 1 一般適応症

- ( 1 ) 神経痛 ( 2 ) 筋肉痛 ( 3 ) 関節痛 ( 4 ) 五十肩  
( 5 ) 運動麻痺 ( 6 ) 関節のこわばり ( 7 ) うちみ ( 8 ) くじき  
( 9 ) 慢性消化器病 ( 10 ) 痔疾 ( 11 ) 冷え性 ( 12 ) 病後回復期  
( 13 ) 疲労回復 ( 14 ) 健康増進

#### 2 宮古島温泉特別適応症(塩化物泉)

- ( 1 ) リウマチ ( 2 ) 糖尿病 ( 3 ) 貧血 ( 4 ) アレルギー  
( 5 ) 痙攣 ( 6 ) 鎮静 ( 7 ) 抗炎症 ( 8 ) きりきず  
( 9 ) やけど ( 10 ) 慢性皮膚病 ( 11 ) 虚弱児童 ( 12 ) 慢性婦人病

### 三 浴用上の注意

- ( 1 ) 温泉治療をはじめる場合は最初の数日の入浴回数を一日あたり一回程度とすること。  
その後は、一日あたりの二回ないし三回までとすること。  
( 2 ) 温泉療養のための必要期間はおおむね二ないし三週間を適当とすること。  
( 3 ) 温泉療養開始後おおむね三日ないし一週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴場反応)  
が現れることがある。『湯あたり』の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、  
湯あたり病状の回復を待つこと。  
( 4 ) 以上のほかに入浴には焦点について注意すること。  
ア 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初め3分ないし10分程度とし  
慣れるにしたがって延長してもよい。  
イ 入浴中は運動浴の場合は別として一般には安静を守る。  
ウ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを  
起こしやすい人は逆に湯後真水で洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)  
エ 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。  
オ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。  
カ 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。  
キ 飲酒しての入浴は特に注意する。

#### 加水あり

源泉掛け流しのため、使用量が多くなり温度が上がった時。

#### 加温無し

#### 循環ろ過無し

#### 入浴剤無し

#### 消毒あり

衛生管理のため、全ての浴槽水で塩素系薬剤を使用しています。

禁忌症適応症決定年月日

平成19年2月2日

決定者

宮古島リハビリ温泉病院

理事長 奥原典一